

【協働実践助成】

令和4年度空き店舗を活用した子育ての孤立・孤独防止のためのシェアスペース事業

令和5年度宮城野区原町リノベ物件を活用した子育てひろば事業

事業報告



- NPO法人アートワークショップすんぷちょ
- ママンココン運営委員会

1. 申請団体の紹介

NP0法人アートワークショップすんぷちょ

代表：及川多香子

2008年設立2014年NP0法人化。文化芸術を用いた社会包摂事業を軸に年齢や障害の有無問わず多様な人が交流し、文化芸術体験できる環境をつくるため、アートワークショップ、舞台公演、芸術祭などの活動を行う。

ママンココン運営委員会

代表：成田由香里 副代表：鈴木有希子（太白区育児サークル応援隊）

子育て支援を目的に、民間での子育て広場運営、支援される側も運営に携わる仕組みを整えたマルシェの開催、母親の趣味を活かした手作り雑貨の販売など、子育てに携わる世代が、人や社会とつながり、エンパワメントされる事業を展開。現在はみやぎNP0プラザ内に常設ショップを開設。行政、民間、児童館、様々な分野の子育て支援セクターとのネットワークを形成している。

2. 申請事業内容

(1) 課題の把握

- コロナ禍における子育て世帯の孤立・孤独、子育て支援情報へのアクセス困難、コロナ自粛中の子育てサークルの減少（太白区内では4サークルが解散） → 育児サークル1つを立ち上げ
- 仙台市の中で最も出生率が高く、子育て世帯が多い宮城野区、市営住宅や福祉施設も多く、多様な人が住まう。社会課題も多様。
→ 登録者の半数が宮城野区在住
- 子育て世帯のエンパワメントには、苦楽仲間と共にし自らが運営する居場所も必要であるが、支える仕組みがない
→ 育児サークルにて仲間づくりが実現
- 仙台市内の文化行政の現状として、子育て世帯向けのプログラムの充実や、文化施設との繋がりを生み出す仕組みが少ない。
フィールドを超えた枠組みの必要性。
→ アートイベントを開催

3. 申請事業内容

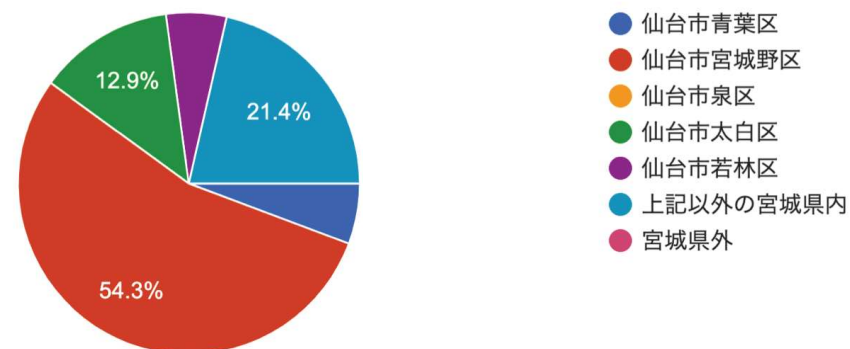
(2) 事業実績について 2023年3月末時点 【登録者数・利用者数】

ひろば開催実績数

6月8、15、22、29日	合計4回
7月6、13、20、27日	合計4回
8月3、10、24、31日	合計4回
9月7、14、21、28日	合計4回
10月6、12、19、26日	合計4回
11月2、9、16、24、30日	合計5回
12月7、14、21日	合計3回
1月11、18、25日	合計3回
2月1、8、15、22日	合計4回
3月1、8、15、22、29日	合計5回
開催回数合計:44回	

ひろば登録者数:44組

お住まいのエリア
70 件の回答



(2) 事業実績について 2023年3月末時点 【情報発信】

イベント毎のチラシの作成

Instagramフォロワー数: 184
(中間報告時98)

suiyou_kosodate_hiroba



河北ウィークリーに掲載されました。



(2) 事業実績について 2023年3月末時点 【情報発信】

◆仙台市主催事業として、下記広報媒体を活用できた。

- ・「せんだいのびすくナビ」イベントカレンダーへの掲載...1回ごとの開催について、カレンダーに掲載
- ・のびすく5館でのチラシ配架...市民協働推進課への持ち込み
- ・地域子育て支援センター(保育所28館)にてチラシ配架
- ・児童館113箇所にてチラシ配架
- ・市内図書館にてチラシ配架



子育て世代向けインフルエンサーの活用

- ・仙台ママグラム
- ・フォロワー数2.8万人
- ・有料でリール動画、まとめのストーリーズに掲載してくれる。



(2) 事業実績について 2023年3月末時点 【活動内容】

◆1日の流れ

10:30 オープン

10:45 育児サークル開始

12:00 ランチタイム

13:00 赤ちゃんサロン開始

15:00 赤ちゃんサロン終了

15:30 クローズ



作家によるものづくりワークショップを同時開催

歯固めづくり、塩アート、ミシンカフェ
名札デコレーション、おうちパン
ボタンアクセサリー、スクラップブックング



(2) 事業実績について 2023年3月末時点 【活動内容】

◆育児サークルぱーしもんキッズ／あかちゃんサロン ぱーしもんベビー

提供されるだけの、子育て支援ではなく、関わる母親が主体的に活動する「育児サークル」の立ち上げを去年に引き続き、行いました。

代表1名、会計1名を育児サークルに参加する母親から専任し、スタッフもフォローしながら、徐々に運営主体をサークルに渡していくよう心がけました。

毎週の活動内容の検討、イベントの準備など母親同士でアイディアを出し、話し合いをしていく過程で、育児サークルの仲間が子育ての同士となり、失敗も含めてみんなで活動を楽しむ姿がありました。

年度終わりには復職などで離れていくメンバーが多く、送迎会では涙する姿もありました。

サークル活動者数：1回平均4組の親子



アートイベントの開催①

◆11/24 クリスマスイベント(マルシェ・ド・ノエル前日祭)

クリスマスイベントでの音楽コンサートを開催。コンサートの他に、キッチンカー販売、マッサージ、パンづくりワークショップ、体重身長測定、などさまざまなプログラムを用意。声を出したり、動いてもOK、ゆったりとした雰囲気の中で、音楽を楽しんでいました。



弦楽アンサンブルコンサート開催



ギターコンサート開催

アートイベントの開催②

◆1/18 新春親子コンサート 池田緋沙子フルートコンサート開催

仙台在住の音楽家による、コンサートを開催。ディズニーソングから本格的なクラシック曲まで普段子どもを連れてコンサートに出かけにくい親子が楽しめる曲目を演奏してくれました。子どもたちも、集中して聴き入る姿がありました。演奏者本人も、2人目を出産間近の妊婦さんだったこともあり、子育てをしながらアーティスト活動をする姿にエンパワーされました。



(2) 事業実績について 2023年4月末～7月 【活動内容】

目標2) 子育てひろば運営が持続する仕組みとネットワークづくり

・下記の4団体が会費を払い運営委員会方式でスタート

- ーNPO法人アートワークショップすんぷちよ
- ーママンコロン運営委員会
- ーこひつじる～む
- ーKOSODATEOENKAI = 赤ちゃんサロンを担当

子育て中のみんなあつまれ！

すいよう 子育て ひろば

毎週水曜日 10:30-15:30
会場 アートシアタージュオチャチャ

すいよう子育てひろばは、子育てをする人や、
子どものために開かれた場所です。

ひろばなので、おしゃべりしたり、
誰かに相談したり、お弁当を食べたり、
工作したり、いろいろなことをして、
それぞれのペースで過ごすことができます。

ほっとひととき、遊びにきませんか？

毎週水曜日の10:30～やっています。

- オープンスペース
10:30-13:30 自由に入出入りOKです。
- 育児サークルばーしもんキッズ
10:30-12:00 未就園児の親子が集って、自分たちで考えて
季節の遊びや工作を楽しみます。
- あかちゃんサロン
13:30- 0、1歳の赤ちゃんを対象にした
わらべうた、子育て相談などのプログラム。
- イベント開催 (不定期)
クリスマス会やコンサート、アートイベントなど。
活動の様子はInstagramで発信しています。

いつ、どんなことをの？ だれがやるの？

すいよう子育てひろば

参加方法は？ どこでやるの？

予約は不要です。直接会場へお越しください。
ご利用には会員登録 (有料) が必要です。

【登録料】 (大人1名子ども1名)
ドロップイン (随時利用)
300円 (子ども2人目200円、3人目無料)
毎月2回ポート
2,000円 (子ども2人目1,000円、3人目無料)

【問い合わせ先】
suiyohiroba@gmail.com
090-1933-9823(3/24)

「アートシアタージュオチャチャ」という
宮城県原町にあるスタジオです。
宮城県産の天然木を用いた床で、赤ちゃんも心地よく過ごせます。

サーム・アート・スタジオ
オチャチャ

仙台市宮城野区原町
5丁目5-35
090-1933-9823

宮城県原町駅
徒歩10分
仙台市営地下鉄
宮城野線
原町駅
徒歩10分
仙台市営地下鉄
宮城野線
原町駅
徒歩10分

基本的な活動内容はR4から変更無し

(2) 事業実績について 2023年7月末時点 【登録者数・利用者数】

ひろば開催実績数

4月26日 合計:1回

5月10,17,24,31 合計:4回

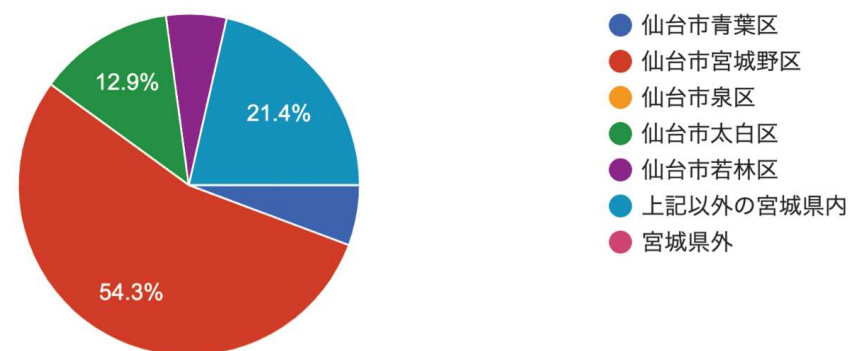
6月7,14,21,28 合計:4回

7月5,12,19,26 合計:4回

開催回数合計:13回

ひろば新規登録者数:19組 (累計63組)

お住まいのエリア
70件の回答



(2) 事業実績について 2023年4月末～7月 【活動内容】

アートイベントの開催①

7/26 てんたん人形劇場の人形劇公演（宮城野区子ども舞台芸術祭連携企画）

- ・本格的な舞台芸術鑑賞
- ・終演後に人形に触ったり、近くで見etimeみる時間があった。
- ・夏休み中の小学生も多く来場した。



アートイベントの開催②

7/19 てんたん人形劇場によるおもちゃの広場
(東京おもちゃ美術館おもちゃコンシェルジュによるおもちゃの広場)

- ・全国の木のおもちゃ作家によるさまざまなおもちゃの展示と、遊べるひろばの開催
- ・当日は大雨となってしまう、来場者は少なかったが、じっくり遊ぶ姿があった
- ・ひろばでのおもちゃの準備や、用意の仕方について参考になる点が多々あった。



(3) R4-R5 総括

- ・R4年7月開始以来、R5年9月末時点まで1年と2ヶ月、65組の親子がひろばに参加した。1月あたり4組のペースで登録があった。
- ・毎回の開催について、参加者数の増減はあったものの、間隔をあけてリピートする親子もいた毎週空いているという安心感を保つことは、居場所として認識される重要な点だとわかった。
- ・手作りワークショップ、芸術鑑賞など、多種多様なコンテンツを用意できたことは、2団体の強みを活かした協働の結果だった。それぞれのネットワークから親子が集まり交流が生まれていた。
- ・子育てひろばの中で、母親の主体性を活かした育児サークルを立ち上げるという手法は、サークルメンバーが増えるほどに、アイデアや一人一人の強みをいかしたチームワークが生まれ充実していくというものだった。呼びかけ人がいなければ、サークルが立ち上がることも難しいので、子育てひろばというきっかけから、育児サークルを立ち上げるストーリーは、母親の孤立や孤独を防ぐ課題に、一定の効果を示すことができるとわかった。